

盟、福島県高等学校教育研究会音楽部会、
会津若松市教育委員会

エ 参加校及び参加人員

器楽の部 14団体 443名
吹奏楽の部 47団体 1,205名
合唱の部 49団体 1,847名

③ 第8回福島県高等学校美術展

県美術文化振興のため、高校生の美術作品を展示し、その美術活動の振興を図るとともに美術教育の向上に資するために開催した。

なお、秋田県教育委員会等が主催し、文化庁が後援する第5回全国高等学校総合文化祭の吹奏楽・管弦楽部門に福島県立福島高等学校が、美術工芸部門に福島県立安積高等学校及び福島県立棚倉高等学校が、書道部門に福島県立福島女子高等学校の計4校が推薦され同文化祭に参加した。

ア 期 日 昭和56年11月13日～11月17日

イ 会 場 原町市体育館

ウ 主 催 福島県教育委員会、(財)福島県文化センター
福島県高等学校教育研究会美術工芸部会
原町市教育委員会

エ 部 門 絵画、彫塑、デザイン

オ 展示数 絵画241点、彫塑17点、デザイン14点
計272点

(4) 芸術文化活動の向上

① 第34回県文学賞

ア 応募数

小説 51点、詩 63点、短歌 43点、俳句 53点
計 210点

イ 審査委員

岩間芳樹、今泉壮市、鈴木 満
大滝清雄、岡村史夫、小川琢士
山本友一、阿久津善治、太田光子
金子兜太、安達真弓、藤村多加夫

ウ 企画委員

広沢康郎、高橋八重子、三谷晃一
高橋重義、白木英尾、天城南海子
鈴木正治、石川日出雄、新田八郎
瀬戸清彦

エ 受賞者数

部 門	賞 名	文学賞	準 賞	奨励賞	青少年奨励賞
小 説		1	1	2	1
詩		1	1	1	1
短 歌		0	2	1	1
俳 句		1	1	2	0
計		3	5	6	3

② 第35回県総合美術展覧会

ア 趣 旨

県内及び県出身者から作品を募集して展覧し、本

県美術文化の振興を図る。

イ 主 催

福島県教育委員会、福島県、福島県美術家連盟、
在京福島県美術家協会、福島市教育委員会、福島
市、(財)福島県文化センター

ウ 後 援、

福島民報社、福島民友新聞社、河北新報社
NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ

エ 会 期

昭和56年6月6日～6月17日

オ 会 場

福島県文化センター

カ 運営委員

飯塚栢園、五十嵐二郎、泉田安治、岡崎英夫
春日部たすく、神野忠和、斎藤芳龍
佐藤 光、瀬戸清彦、高橋良一郎、角田弘司
中野蒼穹、西山勇三、室井鶴堂、山川忠義
渡辺到源、渡辺良雄 (50音順)

キ 審査員

(日本画) 大山忠作、黒沢吉蔵、小林五浪
(洋 画) 阿部七郎、斎藤 清、田口安男
山川忠義、吉井 忠、若松光一郎
渡部憲司
(彫 塑) 白沢菊夫、西山勇三、三坂耿一郎
(工芸美術) 佐藤潤四郎、関谷浩二、滝田項一
津田永寿、照井久良人
(書) 桑原江南、斎藤芳龍、増田忍石
皆川雅舟、村上皓南 (各部50音順)

ク 幹 事

天野和雄、安齋徳衛、安堵 是
石田政雄、市山 博、伊藤 孝
伊東一夫、遠藤 徳、小泉智英
斎藤勝正、佐藤繁雄、渋谷洋吾
関本庄一郎、統橋徳男、根本 昭
平沢敏雄、三浦哲生、吉田 栄
渡辺辰吉 (50音順)

ケ 実行委員

(日本画) 伊藤喜洪、梅津喜雄、菊田 博
佐久間昌廣
(洋 画) 石幡 昇、菅田万次郎、久間木 博、
小松昭大、斎藤光彦、佐々木三郎、
椎名静雄、村上伸栄、渡辺吉惟
(彫 塑) 伊勢忠俊、斎藤貞雄、富田芳秋、柳
沼輝頼
(工芸美術) 芦田比美美、鈴木史子、山根正平
(書) 尾形次男、木村篤士、佐々木信夫、
佐藤一弥、佐藤親司、佐藤浩、佐藤
幸雄、志田嘉丸、高荒敏雄、高野義
勝 (各部50音順)